

TEC-FORCE (緊急災害対策派遣隊) の活動状況

令和2年7月27日 7時時点

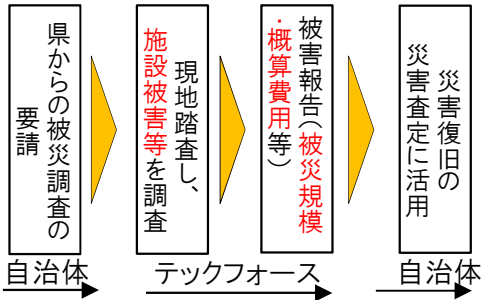
- 九州地方整備局を中心として全国の地方整備局等のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日298人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
降雨時の排水に備え、排水ポンプ車49台(全て九州)を現地へ配備。
- 熊本県の要請に応じ、球磨村周辺を中心に、施設被害状況等を調査し、県の行う被害額算定や査定設計書作成等を支援。

・派遣人数
のべ7,236人・日
・災害対策用機械
のべ2,319台・日

■熊本県内の被災状況調査の実施状況

のべ3,767人のテックフォースを投入し、相良村、湯前町等で概ね調査が完了。7月23日までに河川・道路・砂防の1,428件の施設被害等を報告。

■TEC-FORCEによる被災状況調査の流れ ■被害報告件数(7/24)



内容	河川	砂防	道路	合計
被害件数(熊本県)	230	75	1,123	1,428

自治体から被災調査の要請



7月9日 あさぎり町長からの調査要請
(熊本県あさぎり町)

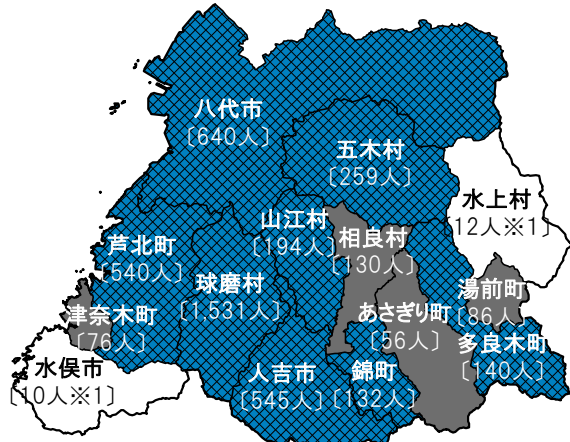
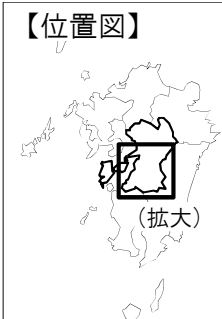
公共土木施設の被災状況調査



7月16日 被災した道路の現地調査
(熊本県球磨村)

■TEC-FORCEの現地派遣人数と進捗率

【位置図】



自治体からの要請に基づく実施割合。

<凡例>	
調査進捗8割以上	調査完了
調査進捗5割~8割	リエゾンのみ
調査進捗5割以下	

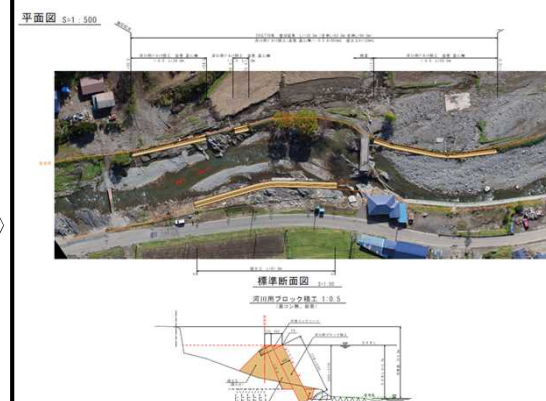
(7/24時点)

要請箇所内の被害報告



7月18日 調査結果を町長へ報告
(熊本県湯前町)

災害査定に活用



河川災の設計図書の事例

・ []は、リエゾン及び被災状況調査班として派遣した人数(のべ人・日)。
・ 「※1」はリエゾンのみを派遣。
・ これは速報であり、数値等は今後変わることがあります。